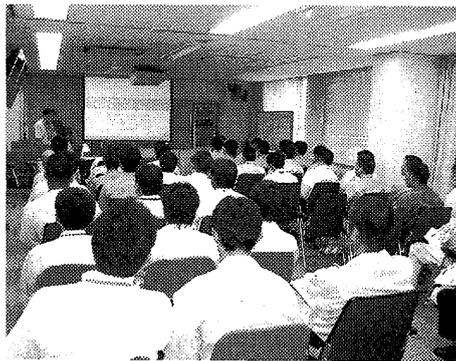


中部地方整備局愛知国道事務所は、名古屋市千種区の同事務所内で建設ICTの普及促進を目的に勉強会を開いた。写真。受注者や発注者ら約30人が詰め掛け最近の動向に聞き入った。

勉強会では、MC（マシンコントロール）技術やMG（マシンガイダンス）技術など、調査設計情報と建設機械の操作情報を連携させてオペレーターの機械操作を支援することで施工の効率や精度の向上を図る技術を紹介した。

続いて、ことし3月に国土交通省が策定した「情報化施工推進戦略」で、1万立方メートル以上の土工を含む「TS（トータルステーション）

## 精度向上技術を紹介



ン）を用いた出来形管理要領（土工編）が適用できる工事では当該技術を使用しなくてはならないことが盛り込まれるなど、使用の原則化が推進されている事情を説

### 整備局愛知国道 建設ICTの勉強会

明。

また、技術提案評価型の工事では評価対象となっていることや2011年度以降の工事ではICT活用工事件数が著しく伸びていることなどを報告した。

説明に立った中部整備局の佐藤智保企画部施工企画課施工係長は「今後は、使用を原則化する対象範囲を拡大する可能性がある中で、少しでも慣れておくことが必要になる」と述べた。

次いで、大興建設の吉田浩二氏がICTバックホウ活用事例を紹介、新技術情報提供システム（NETIS）の紹介、意見交換会などをを行った。

建設通信新聞

#### 【建設ICT】

- |          |        |          |
|----------|--------|----------|
| 1. 日経    | 2. 朝日  | 3. 毎日    |
| 4. 読売    | 5. 岐阜  | 6. 中日    |
| 7. 産経    | 8. 静岡  | 9. 伊勢    |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃 | 15. 日本海  |
| 16. 建設工業 |        |          |

平成25年9月4日(朝)・夕 P7